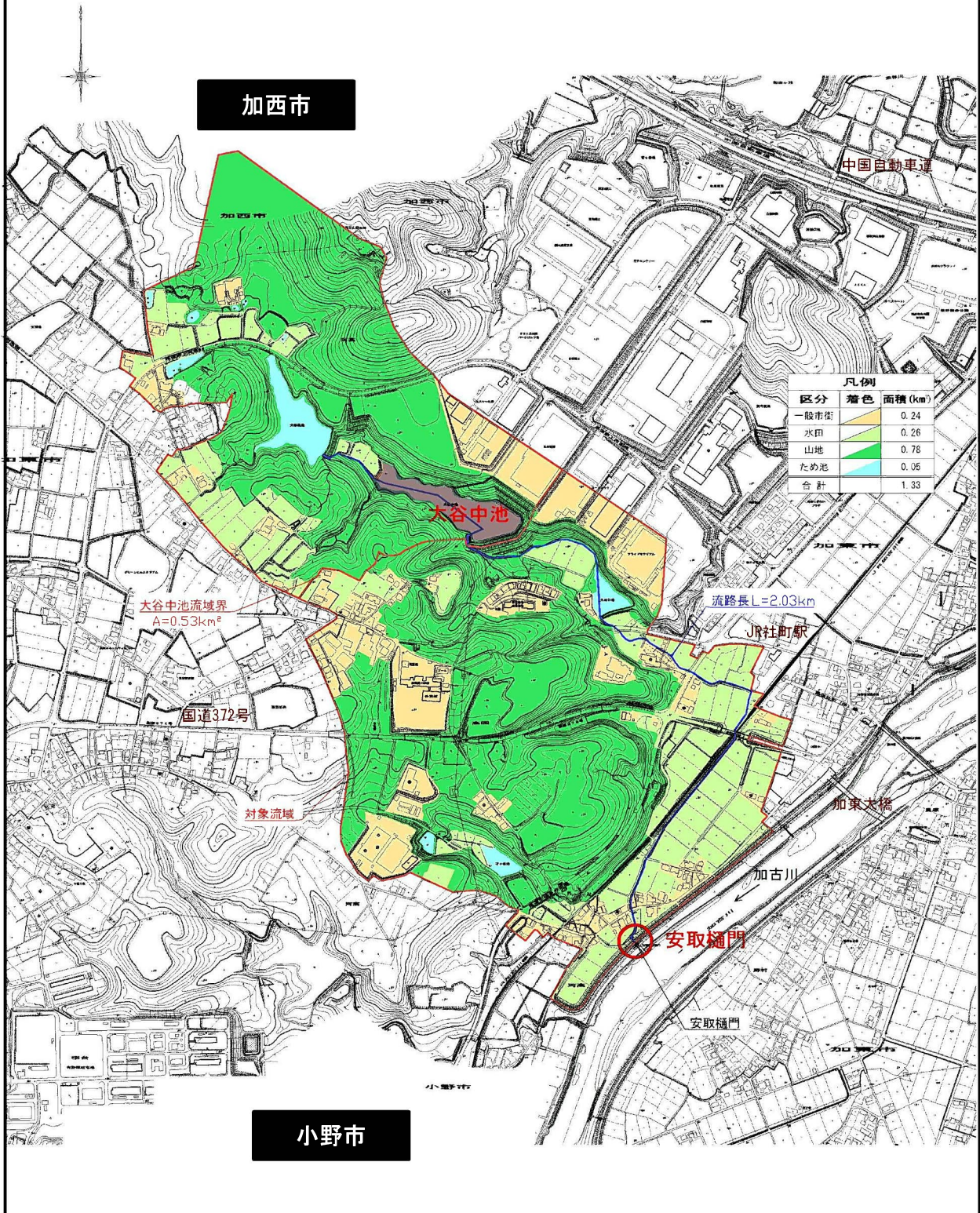
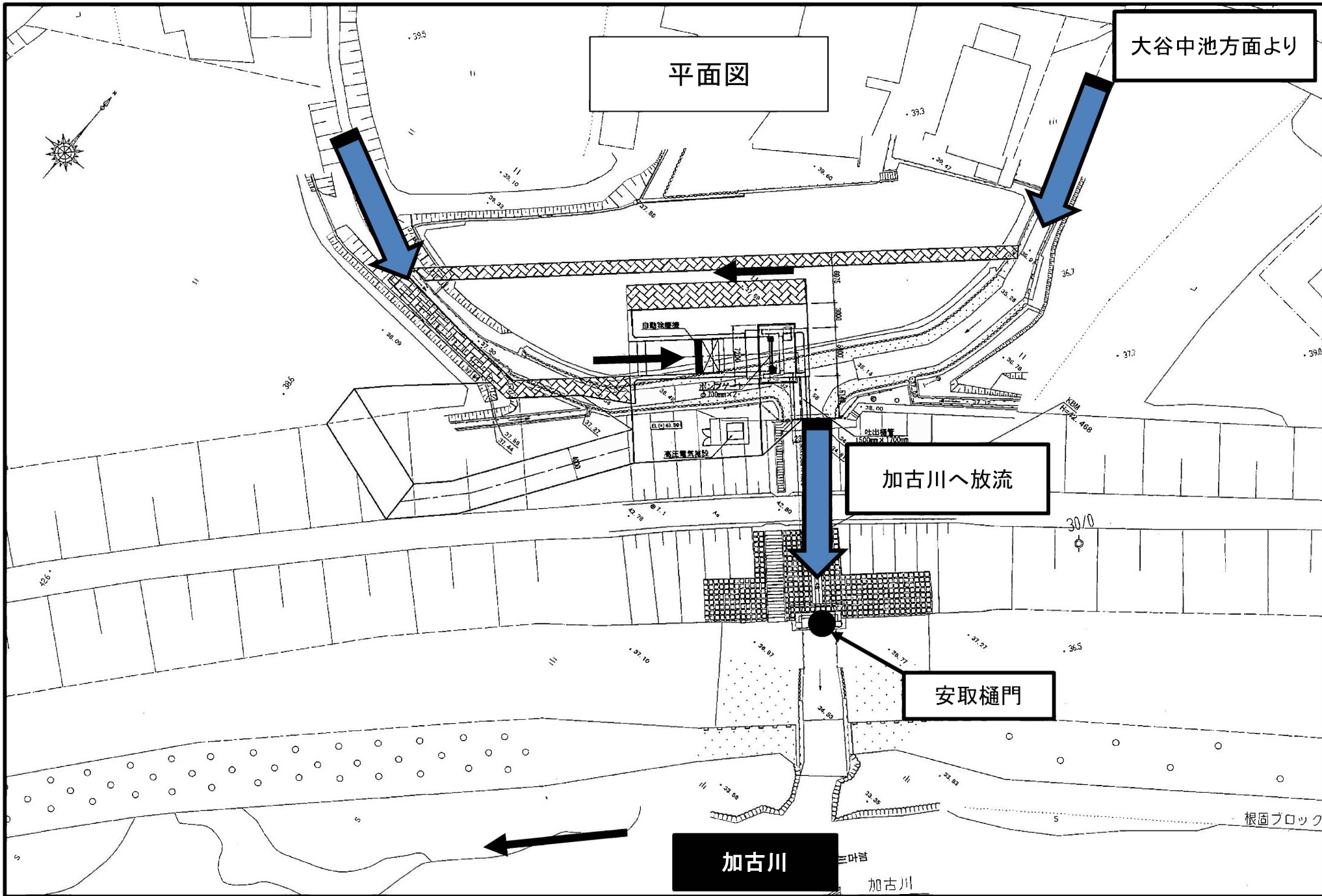


流域図

S=1/8000





平面図

大谷中池方面より

加古川へ放流

安取樋門

加古川

根固ブロック



自動放水機

高圧電気施設

吐出流量
500m³/100m

加古川

河高地区大谷中池総合治水推進事業計画概要

1 事業の必要性

加古川は、近年でも H16 台風 23 号や H23 台風 12 号等により、度々甚大な浸水被害が生じたことから、下流から順次、河川改修が進められている。しかし、近年、想定を上回る局所的集中豪雨の発生頻度が増加傾向にあることから、河川への流入負荷を低減する流域対策の重要性は増している。

そこで、流域内に存在する大谷中池において、放流施設等を整備し、新たな治水容量を確保する。

2 治水容量

池名	治水容量 (m ³)	治水容量確保水位高(m)	貯水時水張面積 (m ²)	既防災調整容量 (m ³)	防災調整容量計 (m ³)
大谷中池	約 17,000	0.85	20,800	40,943	57,943

※ 農業用貯水量 104,000 m³

3 整備計画

(1)整備内容

事前放流ゲート 1基 (オリフィスタ嵩上げ含む)

放流調整ゲート 1基 (内水抑制のための放流調整用)

(2)工 期 平成 27 年度～平成 28 年度

4 事業の効果

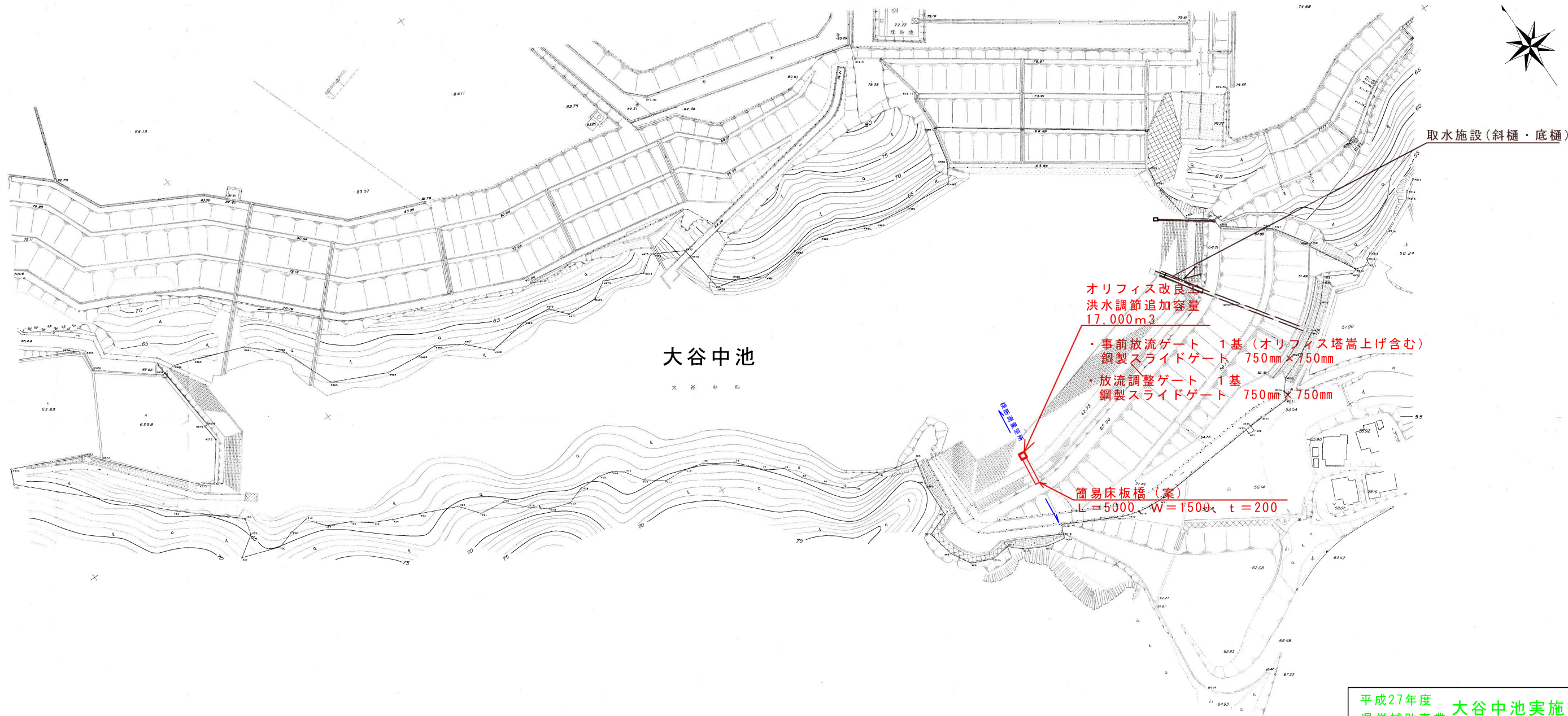
事前放流ゲートを設置し、新たに約 17,000m³の治水容量を確保することで下流河川への流出量を抑制する。加えて、放流調整ゲートを設置し加古川水位上昇に伴い安取樋門が閉鎖された際に、これを全閉とすることにより、降雨ピーク・洪水調整後の空き容量を活用し雨水を大谷池にすべて貯留することで、安取地区の内水浸水被害を軽減する。

5 その他関連情報

当該地域では、以前から浸水被害が生じており、平成 27 年度から田んぼダム 2ha に取り組んでいる。

現況写真





平成27年度 大谷中池実施設計業務 県単補助事業	
河高大谷中池	
加東市 河高 地内	
平面図	1
縮尺 NS	2
加東市	

